

別紙 仕 様 書 1

1. 台数 1台(新車で号車は 44 号車とする)

2. 規格、性能及び主な仕様

- | | |
|----------|--|
| [1]車体形状 | 2t散水車 |
| [2] 使用燃料 | 軽油 |
| [3] 駆動方式 | 二輪駆動 |
| [4] 変速方式 | MT |
| [5] 荷台架装 | タンク材質・室数・許容量:SS400、1室、2,000L以上とする。
ポンプ駆動:PTO方式
散水方法:前方圧力散水、後方重力散水、
圧力放水装置付(放水銃【支給品】が使用できること。)
散水操作:室内操作とする(PTO方式)
吸水ホース:7m程度(ストレーナ付き軽量タイプ)
放水ホース:10m(ジョイント接続はマチノ式とし、サイズ等は落札後
双方協議により決定する。)、口径2B |
| [6] 乗車定員 | 3人 |
| [7] 車体色 | キャブはメーカー標準の白
ボディは、
BE-327-0081 レタンPG80 FC1801
関西ペイント マーメイドブルー |
| [8] 指定文字 | 車両イメージは(別紙2)の仕様によるが、落札後清掃施設課と協議
すること。
字体:ゴシック、大きさ:1文字 10cm以上 |

3. 装備

自動車は、標準装備かつ下記のとおりとする。

- | | |
|-----|---|
| [1] | 中型免許(旧普通免許)で可以使用すること。 |
| [2] | 高床ボディーであること。 |
| [3] | 後輪はダブルタイヤで、タイヤはラジアルタイヤとし、FT/RR195/85R16 省燃費リブと同等品以上を装着すること。 |
| [4] | シングルキャビン、チルトキャビンであること。 |
| [5] | 運転台の乗務は、3人用として座席シートは全座席を厚手のビニール張り(糸入り)とすること。 |
| [6] | 中央座席も保安基準に準じたヘッドレス及びシートベルトを装着すること。 |
| [7] | キャビン床にビニールマットを張りつめること。 |
| [8] | カーラジオ(FM 付き)を取り付けること。 |

- [9] 左右にサイドバイザーを取り付けること。
- [10] 前後輪に泥よけ用マットを取り付けること。
- [11] バックブザーを取り付けること。
- [12] ドアミラーは電動格納式リモコンとすること。(助手席のみ)
- [13] 工具箱、放水ホース等保管箱を付けること。
- [14] バックアイカメラ(広角とする)とモニタを設置すること。
(モニタは7インチ以上のカラーとしバックミラー部への吊下げ式を取付けること。但し、ミラー等の視界に干渉する場合は、事前相談のうえダッシュボード上も可能とする。)
- [15] フロントバンパーは車体色と同色塗装とすること。
- [16] 車両番号は希望ナンバー(三重〇〇〇・〇・530)とすること。
- [17] カメラとレコーダーを一体化したオールインタイプのドライブレコーダーを装備すること。
記録媒体は、16GB以上とする。

4. 付属品は次のとおりとする。

- | | |
|---------------------------------|----|
| [1]標準工具一式 | |
| [2]オイルジャッキ(2t車専用) | 1個 |
| [3]非常用赤旗 1本・非常用停止表示器材 | 1個 |
| [4]車輪止(格納装置付) | 2個 |
| [5]消火器(ヤマトYNPF-6 強化液中性 中身 6.0L) | 1個 |
| [6]車体色塗料1L | 1缶 |

5. 入札価格

入札価格は受検登録費用、リサイクル料、自賠責保険料、自動車重量税等全ての経費を含んだ総額に108分の100を乗じて得た金額(1円未満の端数は切り捨てる)とすること。

なお、入札価格に100分の108を乗じた額(1円未満の端数は切り捨てる)を契約希望金額とします。

下取車にかかる廃棄費用または買い取り値引きを含むものとする。

6. 受験登録に関する手続費用は契約者の負担とする。

7. サービス期間は公表サービス期間とする。

8. 購入台数 1台

9. 納入年月日 平成31年3月22日までとする。納入については、入札後、清掃施設課と協議する。

10. 納入場所 松阪市上川町985番地 松阪市一般廃棄物最終処分場に納入し、担当者の

検査を受けること。

11. 支払方法 納入後、請求書にて指定口座に振り込むものとする。

落札後松阪市と協議し、仕様の最終確認を実施すること。その他詳細は松阪市の指示に従うこと。

12. その他

[1]廃車車両 1台(別紙3参照のこと)

44号車～散水車 三重800 さ 826 H11. 8. 20登録

買取または廃棄処分とする。

買取の場合

下取り車として新車販売価格の値引きの一部に当てること。

再使用の場合は必ず、車体の色を塗り替えること。

これに掛かる費用は落札者の負担とする。

[2]道路運送車両法等、関係法令に違反しないこと。